

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年9月28日
【会社名】	P H Cホールディングス株式会社
【英訳名】	PHC Holdings Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長CEO ジョン・マロッタ
【本店の所在の場所】	東京都港区西新橋二丁目38番5号
【電話番号】	03-5408-7280（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 最高戦略責任者（CSO） 平嶋 竜一
【最寄りの連絡場所】	東京都港区西新橋二丁目38番5号
【電話番号】	03-5408-7280（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 最高戦略責任者（CSO） 平嶋 竜一
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 1【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

米国及び欧州を中心とする海外市場（但し、米国においては1933年米国証券法に基づくルール144Aに従った適格機関投資家に対する販売のみとします。）における当社普通株式の募集（以下、「海外募集」といいます。）及び売出し（以下、「海外売出し」といいます。）に関して、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第1項及び同条第2項第1号の規定に基づき、2021年9月7日付で臨時報告書を提出しておりますが、2021年9月28日開催の当社取締役会において海外募集における発行価額（募集株式に係る会社法上の払込金額）等を決議するとともに、国内外の募集株式総数及び国内外の売出株式総数の変更を決議し、また、売出人の変更を承認する旨を決議いたしましたので、これらに関する事項の訂正を行うため、また、当該決議に係る議事録並びに海外募集及び海外売出しに係る英文仮目論見書補遺及びその抄訳を提出するため、同法第24条の5第5項及び同項において準用される同法第7条第1項の規定に基づき、本臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正内容】

訂正箇所は\_\_\_\_\_ 罫で示しております。

また、別添のとおり、2021年9月28日付の当社取締役会議事録の写し並びに海外募集及び海外売出しに係る英文仮目論見書補遺及びその抄訳を添付書類として提出いたします。

### 1. 海外募集に関する事項

#### (2) 発行株式数（募集株式数）

（訂正前）

3,194,200株（予定）

（注） 海外募集と同時に、日本国内における募集（以下、「国内募集」といいます。）が行われる予定であります。2021年9月7日開催の当社取締役会において決議された募集による新株式発行の募集株式総数は5,807,500株の予定であり、国内募集株式数2,613,300株及び海外募集株式数3,194,200株を目処として募集を行う予定でありますが、その最終的な内訳は、募集株式総数の範囲内で、需要状況等を勘案した上で、2021年10月6日（発行価格等決定日）に決定する予定であります。なお、募集株式総数については、2021年9月28日開催予定の取締役会において変更される可能性があります。

（訂正後）

3,636,500株（予定）

（注） 海外募集と同時に、日本国内における募集（以下、「国内募集」といいます。）が行われる予定であります。2021年9月7日開催及び2021年9月28日開催の当社取締役会において決議された募集による新株式発行の募集株式総数は6,611,700株の予定であり、国内募集株式数2,975,200株及び海外募集株式数3,636,500株を目処として募集を行う予定でありますが、その最終的な内訳は、募集株式総数の範囲内で、需要状況等を勘案した上で、2021年10月6日（発行価格等決定日）に決定する予定であります。

#### (5) 発行価額（募集株式に係る会社法上の払込金額）

（訂正前）

未定

（2021年9月28日開催予定の当社取締役会において決定する予定であります。）

（訂正後）

1株につき2,762.50円

## (13) 提出会社が取得する手取金の総額並びに用途ごとの内容、金額及び支出予定時期

## (イ) 手取金の総額

## (訂正前)

払込金額の総額 11,375百万円(見込み)

発行諸費用の概算額 350百万円(見込み)

差引手取概算額 11,025百万円(見込み)

払込金額の総額は、会社法上の払込金額の総額とは異なり、海外募集に際して当社に払い込まれる引受価額の総額であり、国内募集における想定発行価格(3,700円)を基礎として算出した見込額であります。

## (訂正後)

払込金額の総額 11,812百万円(見込み)

発行諸費用の概算額 350百万円(見込み)

差引手取概算額 11,462百万円(見込み)

払込金額の総額は、会社法上の払込金額の総額とは異なり、海外募集に際して当社に払い込まれる引受価額の総額であり、国内募集における仮条件(3,250円~3,500円)の平均価格(3,375円)を基礎として算出した見込額であります。

## (ロ) 用途ごとの内容、金額及び支出予定時期

## (訂正前)

上記の差引手取概算額11,025百万円については、国内募集における差引手取概算額9,016百万円と併せて、以下に充当する予定です。なお、具体的な充当時期までは、安全性の高い金融商品等で運用していく方針であります。

設備投資資金として10,613百万円(2022年3月期:3,903百万円、2023年3月期:3,308百万円、2024年3月期3,402百万円)に充当する予定です。糖尿病マネジメントセグメントにおいて、BGM市場の需要拡大が見込まれる新興国等への販売拡大を見据え、現地販売拠点・物流拠点の強化や、松山工場における製造設備・金型等の更新による生産能力強化等に資する設備投資を行います。また、診断・ライフサイエンスセグメントにおいては、急速に拡大する市場需要に対応すべく、群馬工場の老朽化設備の更新による生産能力の増強やその他製造ラインの生産能力維持を目的とした設備投資等に充当し、市場需要に対応した供給体制を強化する予定です。

残額については、2022年3月期中に過去のM&Aで増加した金融機関に対する長期借入金の返済への充当を予定しております。当社グループは、金利低減、及び財務安全性の向上を目的としたリファイナンスを2021年6月に実施しております。手取金の一部を長期借入金の返済に充当し、より健全で安全性の高い経営を目指してまいります。

## (訂正後)

上記の差引手取概算額11,462百万円については、国内募集における差引手取概算額9,374百万円と併せて、以下に充当する予定です。なお、具体的な充当時期までは、安全性の高い金融商品等で運用していく方針であります。

設備投資資金として10,613百万円(2022年3月期:3,903百万円、2023年3月期:3,308百万円、2024年3月期3,402百万円)に充当する予定です。糖尿病マネジメントセグメントにおいて、BGM市場の需要拡大が見込まれる新興国等への販売拡大を見据え、現地販売拠点・物流拠点の強化や、松山工場における製造設備・金型等の更新による生産能力強化等に資する設備投資を行います。また、診断・ライフサイエンスセグメントにおいては、急速に拡大する市場需要に対応すべく、群馬工場の老朽化設備の更新による生産能力の増強やその他製造ラインの生産能力維持を目的とした設備投資等に充当し、市場需要に対応した供給体制を強化する予定です。

残額については、2022年3月期中に過去のM&Aで増加した金融機関に対する長期借入金の返済への充当を予定しております。当社グループは、金利低減、及び財務安全性の向上を目的としたリファイナンスを2021年6月に実施しております。手取金の一部を長期借入金の返済に充当し、より健全で安全性の高い経営を目指してまいります。

## 2. 海外売出しに関する事項

## (2) 売出株式数

## (訂正前)

22,359,200株(予定)

(注) 海外売出しと同時に、当社株主が所有する当社普通株式18,293,700株の日本国内における売出し(以下、「引受人の買取引受による国内売出し」といいます。)が行われる予定であります。引受人の買取引受による国内売出し及び海外売出しの売出株式総数は40,652,900株の予定であり、国内売出株式数18,293,700株及び海外売出株式数22,359,200株を目処として売出しを行う予定であります。その最終的な内訳は、売出株式総数の範囲内で、需要状況等を勘案した上で、2021年10月6日(売出価格等決定日)に決定される予定であります。なお、売出株式総数については、2021年9月28日開催予定の取締役会において変更される可能性があります。

## (訂正後)

8,512,200株(予定)

(注) 海外売出しと同時に、当社株主が所有する当社普通株式6,964,100株の日本国内における売出し(以下、「引受人の買取引受による国内売出し」といいます。)が行われる予定であります。引受人の買取引受による国内売出し及び海外売出しの売出株式総数は15,476,300株の予定であり、国内売出株式数6,964,100株及び海外売出株式数8,512,200株を目処として売出しを行う予定であります。その最終的な内訳は、売出株式総数の範囲内で、需要状況等を勘案した上で、2021年10月6日(売出価格等決定日)に決定される予定であります。

## (8) 売出人の名称

## (訂正前)

KKR PHC Investment L.P.

三井物産株式会社

パナソニック株式会社

株式会社生命科学インスティテュート

LCA 3 Moonshot LP

## (訂正後)

KKR PHC Investment L.P.

三井物産株式会社

パナソニック株式会社

株式会社生命科学インスティテュート

### 3. その他の事項

(訂正前)

(2) 海外募集及び海外売出しにあたっては、その需要状況等を勘案し、SMBC Nikko Capital Markets Limitedが当社株主であるKKR PHC Investment L.P.及び三井物産株式会社(以下、「貸株人」と総称します。)から3,833,000株を上限としてSMBC日興証券株式会社を經由して借入れる当社普通株式の海外市場(但し、米国においては1933年米国証券法に基づくルール144Aに従った適格機関投資家に対する販売のみとします。)における売出し(以下、「オーバーアロットメントによる海外売出し」といいます。)が追加的に行われる場合があります。上記のオーバーアロットメントによる海外売出しに係る売出数は上限株式数を示したものであり、需要状況等により減少し、又は全く行わない場合があります。

また、海外募集及び海外売出しと同時に、国内募集及び引受人の買取引受による国内売出しが行われる予定ですが、かかる国内募集及び引受人の買取引受による国内売出しにあたっては、その需要状況等を勘案し、3,136,000株を上限として、SMBC日興証券株式会社が貸株人から借入れる当社普通株式の日本国内における売出し(以下、「オーバーアロットメントによる国内売出し」といいます。)が追加的に行われる場合があります。

なお、当社は、上記の国内募集、引受人の買取引受による国内売出し及びオーバーアロットメントによる国内売出しについて関東財務局長に対して本日付で有価証券届出書を提出しております。

(略)

(訂正後)

(2) 海外募集及び海外売出しにあたっては、その需要状況等を勘案し、SMBC Nikko Capital Markets Limitedが当社株主であるKKR PHC Investment L.P.及び三井物産株式会社(以下、「貸株人」と総称します。)から1,822,300株を上限としてSMBC日興証券株式会社を經由して借入れる当社普通株式の海外市場(但し、米国においては1933年米国証券法に基づくルール144Aに従った適格機関投資家に対する販売のみとします。)における売出し(以下、「オーバーアロットメントによる海外売出し」といいます。)が追加的に行われる場合があります。上記のオーバーアロットメントによる海外売出しに係る売出数は上限株式数を示したものであり、需要状況等により減少し、又は全く行わない場合があります。

また、海外募集及び海外売出しと同時に、国内募集及び引受人の買取引受による国内売出しが行われる予定ですが、かかる国内募集及び引受人の買取引受による国内売出しにあたっては、その需要状況等を勘案し、1,490,800株を上限として、SMBC日興証券株式会社が貸株人から借入れる当社普通株式の日本国内における売出し(以下、「オーバーアロットメントによる国内売出し」といいます。)が追加的に行われる場合があります。

なお、当社は、上記の国内募集、引受人の買取引受による国内売出し及びオーバーアロットメントによる国内売出しについて関東財務局長に対して2021年9月7日付で有価証券届出書を、本日付で有価証券届出書の訂正届出書を、それぞれ提出しております。

(略)

以上